



園長便りひがし

令和7年3月3日
宮崎ひがし幼稚園
文責園長 花宮 伸利

いよいよ3月

本年度もいよいよ最後の月を迎えました。私も園長としてお世話になってきましたが、保護者の皆様にもいろいろご心配をおかけしたのではないかと感じています。1年間を振り返りますと、宮崎ひがし幼稚園は開園から52年を迎え一人ひとりが心身ともに健やかに成長できるように、職員一同遊びや生活を通して「夢」と「元気」と「自信」と「やる気」を育てるように取り組んできました。



【歓迎遠足】



【運動会 組体操】



【避難訓練】



【水遊び】



【食育活動】



【クリスマス会】

その季節に応じた様々な体験活動を行ってきました。さらに、園内行事の充実はもちろんのこと育成牧場や、市民の森や科学技術館など市内への園外保育を行うことでより豊かな体験を子ども達にさせて来ました。また、年長さんになると就学前ということで講師の先生に来ていただいて楽しみながらひらがなや英語を学ぶ時間を作っています。さらに、年中さんからは体操の先生に来ていただいて体を動かすことの楽しさを味わっています。今後も豊かな環境の中で強く正しくのびのびと子ども達を育てたいと職員一同努力していきます。

幼稚園バス (以前もお知らせしています)

昨今、児童の送迎バス車内への置き去り事故をたびたびニュースで見かけることがあります。2023年4月1日から全国の幼稚園・保育所・認定こども園・特別支援学校等を対象として、送迎バスへの置き去り防止装置等の安全装置の設置義務化が行われました。本園では、運転手とは別に必ず添乗員が乗り、2人で協力して園児を送迎しているところです。さらに、車内置き去り防止安全支援装置「かくにん君」を設置し、車内置き去りを防止し、バス車内の点検を促すための確実な方法をとっています。安全第一で毎日送迎を頑張ります。

